



平成 20 年 9 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 ナ イ ガ イ
代 表 者 名 取締役社長 林 勇 二
(コード番号 8013 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 市原 聡
(TEL 03-5822-3810)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 3 月 28 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 1 月期中間期業績予想数値の修正 (平成 20 年 2 月 1 日～平成 20 年 7 月 31 日)

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,000	△100	△100	△100
今 回 修 正 (B)	16,300	200	280	480
増 減 額 (B-A)	△700	300	380	580
増 減 率	△4.1	—	—	—
前期(平成 20 年 1 月期中間)実績	17,559	△1,254	△1,118	△1,220

(2) 単体

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	15,000	△100	△100	△100
今 回 修 正 (B)	15,000	△30	50	280
増 減 額 (B-A)	—	70	150	380
増 減 率	—	—	—	—
前期(平成 20 年 1 月期中間)実績	12,946	△687	△563	△973

(3) 修正の理由

当中間連結会計期間の業績は、厳しい市況のなか、新規業態事業の売上高は好調に推移したものの、レディースウェア等の既存事業は苦戦を強いられ、売上高は予想を下回る結果となりました。一方、営業利益、経常利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減並びに為替差益等の影響もあり、予想を上回る見通しであります。また、当期利益につきましても、減損損失約 2 億円を計上しましたが土地建物の売却益約 4 億円等により、予想を上回る見通しであります。

単体の営業利益、経常利益、当期利益につきましても、上記と同様の理由により、予想を上回る見通しであります。

なお、通期業績予想(連結・単体)につきましては、現在精査中であり、確定中間決算発表時に公表する予定です。

以 上